

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	3
サポートクラス	ウォーリア	Lv.1:	ウォーリア	性別	男
称号クラス				年齢	18(1005年時)
種族	ヒューリン			境遇	平凡
出自(効果)	一般人			目標	名誉

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	10	14	9	8	9	11	9
ボーナス	3	4	3	2	3	3	3
クラス修正	2	2	2	0	0	0	0
他修正							
能力値	5	6	5	2	3	3	3

HP	50
MP	39
フェイト	7

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	S2ロングソード	至近	0	7	0	0	0	-1	0
左手									
頭部	クロスヘルム				-1	3			
胴部	スケイルアーマー					7			-1
補助	ガントレット					3			-1
装身具	警告の碧水晶								
能力値			6	0	5	0	3	8	10
スキル	フェイス:アーケンラヴ [コンパクトマスター]		3						
その他	『戦士の環』			1		1			
総計(右)			9	8					
総計(左)			9	1	4	14	3	7	8
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	6			6	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
	ランチボックス
ベルトポーチ	
異次元バッグ	小道具入れ
	→戦士の環
ポーションホルダー	
→ハイHPポーション*2	S2ロングソード
→ハイMPポーション*3	→戦技のクリスタル
	→精霊:光のクリスタル
ウエポンケース	

現在重量:	5	所持金:	19829	預金・借金:	
最大重量:	22				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
プロビデンス	★	-	パッシブ	-	-	-		
効果: 作成時にフェイト+1								
ハッシュ	4	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果: 武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]								
アームズマスタリー:長剣	★		パッシブ		自身			
効果: 長剣を使用した命中判定に+1 dする。								
スラッシュブロー	3	3	DR直前		自身	自動成功	シーン1回	
効果: 武器攻撃のダメージの直後に使用する。ダメージ増加を行なう。その攻撃のダメージに+「SL*2」 dする。								
ボルテクスアタック	★		効果参照		自身	自動成功	ダメージ1回	
効果: 武器攻撃と同時に使用する。その攻撃を「対象:単体*」に変更、ダメージに+「CL*10」する。								
	1							
効果:								
コンパクトマスター	★		パッシブ		自身			
効果: 装備している武器を使用した命中判定の達成値に+2する。								
	1							
効果:								
陽光の刃	1	3	セットアップ		自身	自動成功		
効果:ダメージ増加を行う。武器攻撃のダメージに+1 dする。この効果はシーン終了まで持続する。複数回使用した場合、この効果は「SL+1」回まで重複する。								
ベアアップ	★		パッシブ		自身			
効果: スキルに対するリアクションとして行う【精神】判定に+1 dする。								
フェイス:アーケンラヴ	★		パッシブ		自身			
効果: あらゆる命中判定に達成値に+1する。								
ブロウストライカーI	★		イニシアチブ		自身	自動成功	ダメージ1回	
効果: フェイト1点消費。すでに使用した「スラッシュブロー」の使用回数を1増やす。								
イクイップリミット	★		パッシブ		自身			
効果: 装備しているアイテムの重量制限に+5する。								
効果:								
効果:								

僕の名前はレイ。
 なんてない、平民上がりの新米騎士だ。
 このまま、大きな手柄を立てるわけでもなく、脇役続けて、人生脇役のままでもいいと思ってた。
 が、どうしてこうなった？
 髪を下して、スカート履いて…、え？どういうこと？
 事の始まりは、ざっくり言うと、女性騎士推進キャンペーンだった。
 男性だけで対処が難しい任務は少なからず存在する。
 だが、騎士は女性にはあまり人気はない。
 そこで、なんか僕が女装して、女性騎士を呼び込むためのキャンペーンをすることになった。
 なんて僕かって？なんでも、一番顔が可愛かったのは僕だったらしい、悲しいね。
 こうして、僕は今…「クラン=ベル」にいる。

「なんで僕が女装して冒険なんて…！くっ！殺せ…！（恥）/////」

遠い記憶…。
 「レイ君可愛いね～、お姫様みた～い」
 「あれ？でもレイ君は男の子だね。」
 「あ～、じゃあお姫様になれないね。」

「僕は男の子だから…、男らしくならないと！」